



新たな中期ビジョン

# 日空衛 2025

AIR-CONDITIONING & PLUMBING CONTRACTORS ASSOCIATION OF JAPAN

持続可能な社会への貢献、魅力ある空調衛生工事業への挑戦！

2024年10月



一般社団法人 日本空調衛生工事業協会

## 空調衛生工事業の取り組み

私たち日空衛の会員は、あらゆる分野での環境創造を担い、快適な引き続き、環境創造を通して社会基盤を担うためには、魅力ある業このたび、日本空調衛生工事業協会（日空衛）では、近年の社会経中期ビジョン「日空衛 2025」を取りまとめました。  
時代のニーズを取り込み、さらに社会的な役割を果たしていくため、

生活環境および産業分野での製造環境の構築に尽力しています。界への変革、社会貢献の取り組み強化を図るべきと考えています。済情勢の変化を踏まえ、今後の事業推進の指針とするため、「日空衛 2025」で重点的に取り組む6つの項目を紹介します。

### 1 2050年カーボンニュートラルへの貢献

脱炭素社会への先導役として、ZEB化への推進など、建物のライフサイクルを通して技術貢献します！

### 2 魅力ある空調衛生工事業への変革

3Kから新4Kへ、関係者全員が誇りの持てる業界に生まれ変わります！

### 3 生産性向上への挑戦

建設DX、オフサイト化、労働者不足の解消、かつ

ロボット化を推進し、高品質な設備を提供します！

### 4 健全な経営環境の構築

業界が抱える課題を広く発最善策を見出します！

信じ、関係者と協議を深め

### 5 社会的信頼の確保と発信

事業活動の透明性を上げ、法令遵守、ガバナンス強化、人権の尊重を一人ひとりに浸透させます！

### 6 業界全体の活性化に向けた取り組み

事業規模・業態、地域など、会員の多様な立場・視点の課題を取り上げ、対応策を推進します！

# 日空衛 2025 6つの重点項目

## 1 2050年カーボンニュートラルへの貢献

Contribution

### 1. ZEB・ZEH 基準の省エネルギー技術の開発

ネット・ゼロに空調衛生工事分野の技術で貢献する。

- ▶省エネルギーおよび技術開発の推進
- ▶既存建築物（ストック）のZEB化の推進
- ▶「実績ZEB」の認知・普及

### 2. 「建物のライフサイクル」を通しての技術貢献

国内では、建築物等から排出されるホールライフカーボンのうち、エンボデイドカーボンが20%強、オペレーショナルカーボンが80%弱と試算されている。

- ▶オペレーショナルカーボン：ZEBの普及、チューニングや運用改善など総合提案力の強化
- ▶エンボデイドカーボン：BIMの活用、施工技術開発の推進
- ▶建設から維持管理までをトータルにコーディネート

### 3. 脱炭素社会への先導役として

- ▶フロンなどの適正な回収と処理の徹底
- ▶脱炭素社会に向けた役割の自覚と率先垂範

## 2 魅力ある空調衛生工事業への変革

Transformation

### 1. 労働環境の改善(3Kから新4Kへ)

- ▶日空衛と会員企業が一体となった働き方改革の推進と定着化
- ▶作業所の働きやすい労働環境の構築(安心して快適に働ける職場づくり)
- ▶3Kからの脱却と新4K(給与が良い・休暇が取れる・希望が持てる・かっこいい)の産業を目指した取り組みの推進

### 2. 誇りが持てる産業であることの発信

- ▶環境創造を通して果たす空調衛生工事業の意義と役割の認識
- ▶若年層を意識した情報発信の強化による入職促進

### 3. 多様な人材の活躍支援

- ▶企業の持続的な成長を目指した経営戦略・人材戦略の見直し
- ▶女性が長期的に活躍できる支援体制の構築(個々の特性を生かすことのできる職種など)
- ▶国内・国外の大学出身者やその他の高度外国人材の積極的な採用検討
- ▶高齢者や障がい者、他業種からの転職者など、多様な人材の特性に応じた活躍支援の推進
- ▶空調衛生工事業の持続的な発展に向けた育成方針の策定と資本投入

### 4. 技能労働者の処遇改善

- ▶重層下請構造による弊害の改善に向けた労務費の適切な価格交渉・価格転嫁への取り組み推進
- ▶適切な工期設定および契約変更、働き方改革関連法の遵守に向けた関連機関・団体への要請
- ▶技能労働者の処遇改善と若手入職者の増加を目指したCCUSの有効活用および普及促進

## 3 生産性向上への挑戦

Challenge

### 1. 建設DXの推進

- ▶BIMの活用により、設計図書の不整合による多大な変更業務を削減
- ▶工事の各工程におけるBIMデータの一元管理による業務効率と生産性の向上
- ▶BIM業務にかかわる契約形態や著作権・使用権の明確化

### 2. 企業のDX人材の育成

- ▶ICT・AIによる熟練者の技術を可視化・数値化して、DXにより技術を伝承
- ▶ICT・AI技術を活用できるDX人材を積極的に採用・育成する企業体制の構築

### 3. 現場作業を削減するための取り組み

- ▶オフサイト生産により、建設現場へ資機材の共同配送や大量輸送を実現
- ▶会員各社のオフサイト拠点の共同利用・共同開発、目標設定などを模索し、業界全体の現場作業の最適化

### 4. 建設現場における自動化・ロボット化の推進

- ▶「自走式風量測定ロボット」や「自走式照度測定ロボット」などによる、作業員の負担を軽減、生産性を向上

## 4 健全な経営環境の構築

Establishment

### 1. 適正かつ柔軟な工期の設定

- ▶時間外労働の上限規制により、適正工期・適正価格を確保
- ▶概成工期の設定を行い、試運転調整の期間を確保

### 2. 契約の透明化

- ▶民間工事におけるスライド条項の適用を推進
- ▶設計変更の対応、労務費の適切な転嫁など、業界全体で実行
- ▶ADRや中紛審(中央建設工事紛争審査会)等の活用による、契約の透明化を推進

### 3. 直接(分離)発注および許可業種区分見直しの推進

- ▶品質およびコスト透明性の確保、顧客満足度向上の観点から、直接(分離)発注を推進
- ▶許可業種区分の見直しにより、社会的認知度の向上と業種区分の整合を要請  
管工事から「機械設備一式工事」または「空調衛生工事」へ



## 5 社会的信頼の確保と発信

Ensuring

### 1. コンプライアンスの理解

- ▶コンプライアンスの重要性
- ▶信頼失墜の防止
- ▶情報管理と守秘義務
- ▶不正競争防止法の重要性

### 2. 独占禁止法・入札談合等関与行為防止法の遵守

- ▶談合と法的規制
- ▶官製談合防止法の注意点
- ▶重大な違反行為と再発防止

### 3. コーポレートガバナンスの強化

- ▶経営の透明性の確保
- ▶ステークホルダーの権利・立場の尊重
- ▶重大な違反行為と再発防止
- ▶長期的な視点で俯瞰

### 4. 情報公開

- ▶透明性の確保
- ▶企業価値向上への影響

### 5. 人権の尊重

- ▶人権の尊重と公正な社会構築
- ▶差別の撤廃と理解
- ▶安全と健康への配慮
- ▶人権尊重の効果と責任

## 6 業界全体の活性化に向けた取り組み

Attempt

大企業とは異なる中小会員企業の事情に応じた取り組みを推進する。

### 1. 公共工事の直接(分離)発注の推進

- ▶分離発注案件への積極的な応札姿勢
- ▶自治体の技術職員不足に対応した取り組みの推進
- ▶契約関係の変化に対応した元請にこだわらない事業運営の検討
- ▶PFI・リース方式に対し、地元企業の受注機会確保の取り組みの推進

### 2. 社会資本整備の担い手であることの情報発信

- ▶関係団体との連携による地域の防災活動の担い手としてのPR

### 3. 大手との違いを訴求した担い手の確保

- ▶地方の中小企業としてのメリット、仕事の達成感の訴求
- ▶他産業に引けを取らない労働環境、処遇の改善
- ▶これまで施工現場で働く機会がなかった人材の活躍推進
- ▶工業高校の設備関係学科との連携強化

### 4. 事業承継の取り組み

- ▶雇用と技術を守るための取り組みの推進
- ▶会員企業の求めに応じた業界団体の支援策の検討

### 5. カーボンニュートラルへの貢献

- ▶早急なスコープ1および2の削減目標の設定
- ▶環境経営に取り組みことによる差別化

## 協会の取り組み

- (1) 働き方改革の推進
- (2) 生産性向上の推進
- (3) 担い手の確保・育成・定着の推進
- (4) カーボンニュートラルへの貢献等環境対策の推進
- (5) 行政等への提案要望
- (6) コンプライアンスの徹底による社会的信頼の確保
- (7) 会員企業の防災活動への支援
- (8) 会員企業の活動支援体制の強化